

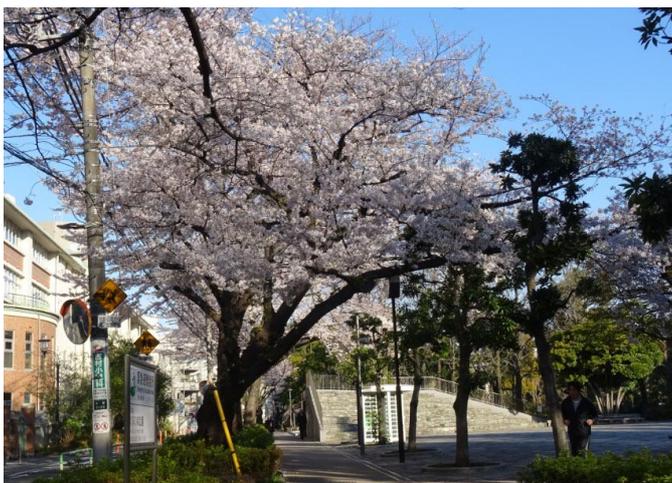
「桜満開! (1)」

お茶の水女子大学附属小学校教諭

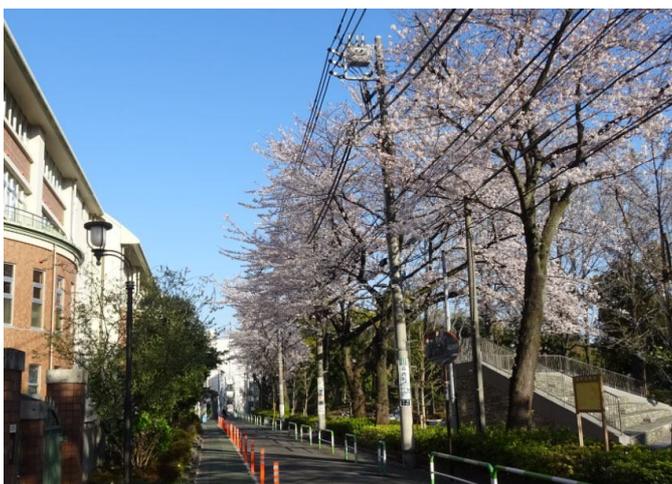
お茶の水女子大学サイエンス&エデュケーションセンター研究員

田中 千尋 Chihiro Tanaka

今朝はよく晴れていたもので、出勤途中にもう一度サクラの咲き具合を観察してみることにした。私はしばらく東京を離れていたもので、もうずいぶん散ってしまっただろうと、あまり期待していなかったのだが、いやいや。それはもう、まさに「満開」だった。



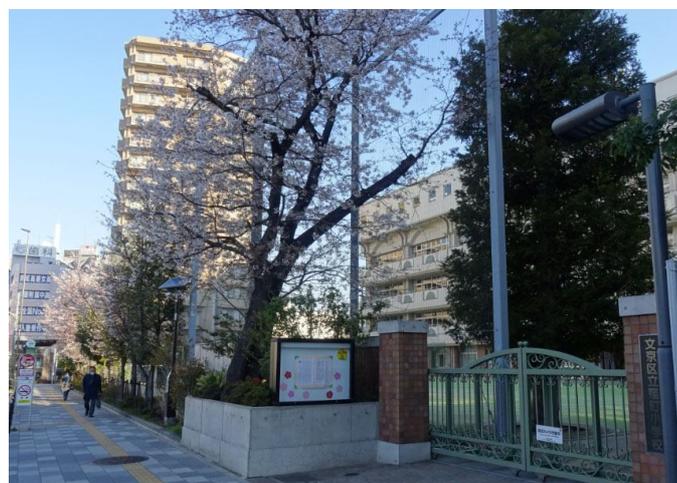
窪町小学校の裏、教育の森公園の遊歩道のサクラもご覧の通り。8分咲きでも9分咲きでもなく、完全に満開だった。ここ数日の寒さで、少し開花が遅れて、ちょうど良い時に写真が撮れたようだ。



左側の美しい校舎が「窪町小学校」現在このあたりの住居表示は「大塚」(1~6丁目)だが、かつては、「大塚窪町」「大塚仲町」「大塚坂下町」などいくつかの地名が存在した。窪町小学校の名はその地名の名残で、間もなく創立100周年を迎える区内屈指の名門小学校である。校歌も「常磐色濃きかやの木の 青空突いてすすくと・・・」と誠に格調高い。



古い地形図を見ると、「小石川村・大塚窪町」の地名が見える。窪町小学校の位置は○のあたりである。



窪町小学校の正門は、春日通り側にある。ここにも美しい桜樹が並んでいる。特に正門わきの古木はすばらしい。門扉の横にある掲示板を見ると、子どもたちの活動がよくわかり、私はよく自転車を停めて読ませてもらっている。



その先にも「ソメイヨシノ」と「マテバシイ」(常緑広葉樹)が並んでいる。2006年に校舎を建て替えた時に植えられたものだ。バス停が2つ並んでいるのは、都営バスと文京区のB-グルバスが停まるからだ。